

事業概要【なんたん健幸まちづくり事業】

申請者	京都府南丹市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	518,740千円 (440,780千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	生活環境の創生
目的 (効果)	<p>健康づくり、まちづくり、公共施設再編を一体としたスマートウェルネスシティの実現に向けて、市民の疾病予防とともにウェルビーイング最大化に向けたウォーカブルなまちを市全体に広げ、人々が南丹市に住むことで健康になり、生涯にわたり安心して暮らせるまちづくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康寿命の延伸と交通弱者に配慮した、健康に生活でき、利用しやすい公共交通機関を考慮したまちづくり 中山間地に住む高齢者が、買い物、医療、介護など日常生活に不可欠なサービスの持続可能な提供され、住み続けられるまち。 健康寿命の延伸と交通弱者に配慮した、健康に生活でき、利用しやすい公共交通機関を考慮したまちづくり 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 人と人とを繋げ、地域の魅力を発信するコミュニティ拠点“健幸ラウンジ”を整備する。その拠点を活用するための会員を集め、さらに世代間の交流、地域内外の交流を生み出すためのインフルエンサー（健幸アンバサダー）を育成することで、ウォーカブルなまちの実現を目指す。</p> <p>【拠点整備事業】 ○なんたん健幸ラウンジの整備 448,530千円 経費内訳：工事請負費 446,273千円 委託料 2,257千円</p> <p>【ソフト事業】 ○公共施設の健幸ラウンジ化と健幸ラウンジ会員の組成 ○美山版地域包括ケアシステムの整備 ○こどもから高齢者世代まで3世代にかけて“街の魅力”を発信 ○南丹市SWC（スマートウェルネスシティ）推進計画の策定 ※ソフト事業は令和8年度以降の事業</p>						
地域の多様な主体の参画	<p>地域の大学と共同して健幸イベントの開催やイベントに参画してもらう。 地域の健幸アンバサダー、健幸マイスターに地域の中でつながりあいながら、住み慣れた地域で暮らし続けられる体制の整備養成講座等による住民ニーズ把握</p>					<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①南丹市全体の人口 (-495人) ②健幸ラウンジ来場者数 (+6000人) ③健幸アンバサダー等のボランティア人数 (+200人)</p>